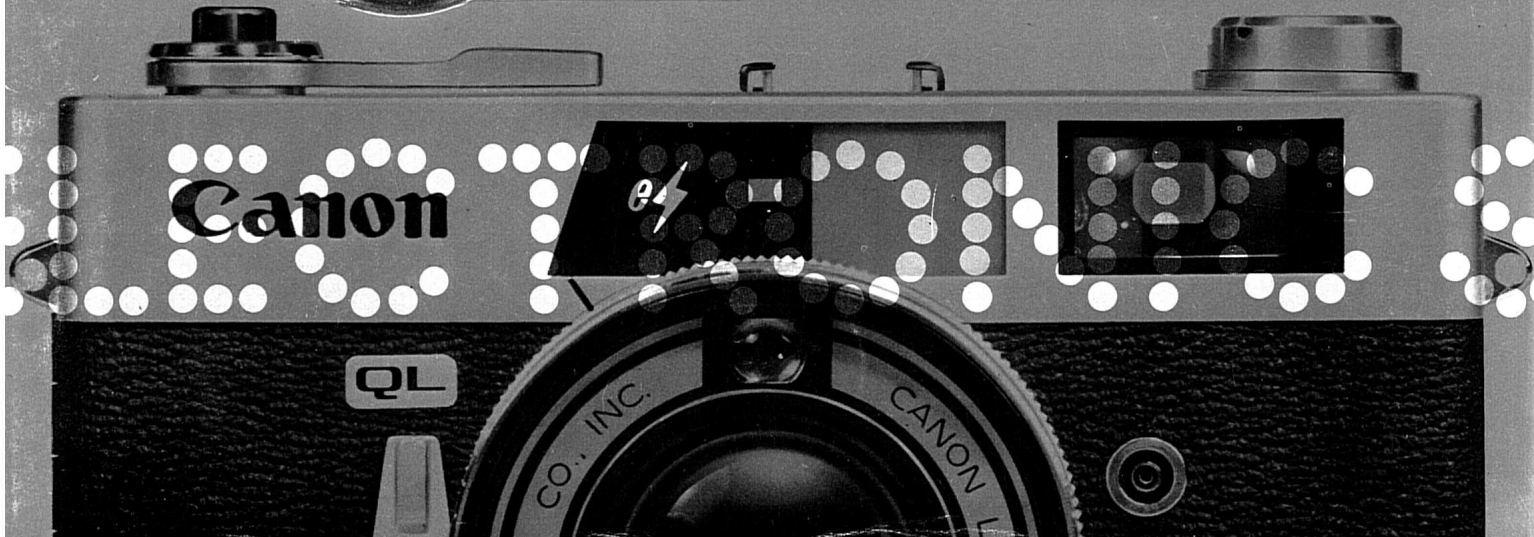




Canon キヤノネット QL19E

使用説明書



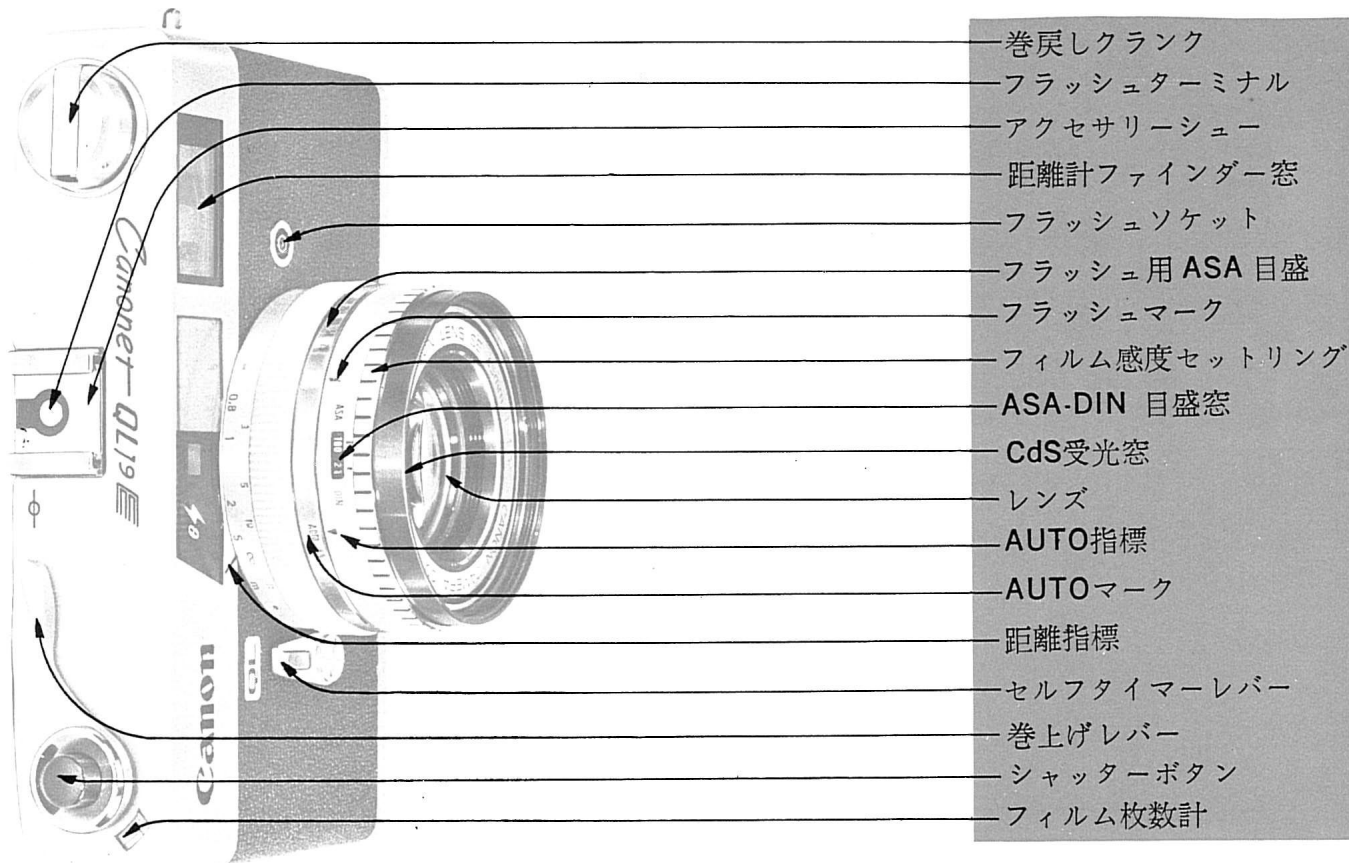
キヤノネット QL 19E をお選びくださいませありがとうございます。

キヤノネット QL 19E は、現代のカメラ界で最も進歩した三つの機構——電子EE シャッター・フラッシュの自動露出機構・フィルム自動装てんの QL 機構——をもつ新鋭機です。

このカメラには、絞り目盛もシャッター目盛もなく、撮影に必要な一切の手続きを精密な電子シャッターが受け持ちます。明かるい場所ではEE撮影、暗いところではフラッシュオート撮影、QL機構です早くフィルムをつめて、夜も昼もあらゆる条件に適正露出を選ぶカメラ、キヤノネット QL 19E を十分にご活用になり、“カメラのある生活”をお楽しみください。

キヤノネット QL 19E の特長

1. **電子シャッター:** 電子シャッターは、受光部 (CdS) に受けた光の強弱を電流に変え、トランジスター・コンデンサー・マグネットなどの電子回路によって自動的に適正露出を選びます。耐震性、堅牢性は抜群で、安心してお使いになれます。
2. **フラッシュオート機構:** フラッシュ撮影につきもののわずらわしい計算は一切不要です。バルブのガイドナンバーなどおぼえる必要はありません。被写体までの距離に応じて適当な絞りが自動的に選ばれるので、EE撮影と全く同じ気軽さでフラッシュ撮影ができます。
3. **QL システム:** キヤノンの手によって開発された 35ミリ標準パトローネフィルムのための自動装てん機構です。フィルムをカメラにのせるだけで、あとは QL 機構の手におまかせください。QL 機構はす早くフィルムを巻取り、初めての方でも 100%失敗ありません。世界中でもっとも種類が豊富な 35 ミリパトローネフィルムのなかから、カラーでも黒白でも、お好みに合うフィルムが選べます。
4. **シャープなレンズ・安定したボディ機構:** キヤノンレンズの描写力のたしかさ、カラーバランスのよさは、すでに世界中で実証済み。発売以来200万台の新記録をもつキヤノネットが練り上げた安定した品質が、1 個の部品にまで生かされています。



●このページを開いたまま本文の説明をお読みください。各名称の位置が一目でわかって便利です。最後のページにも反対側から見た写真があります。

キヤノネット QL19 E の撮影手順



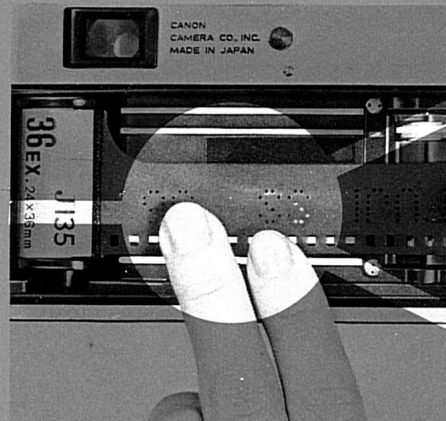
2. フィルム感度を合わせる

A

EE撮影のとき

1. QLでフィルムをつめる

撮影の前にはかならずレンズ
キャップをはずしてください。



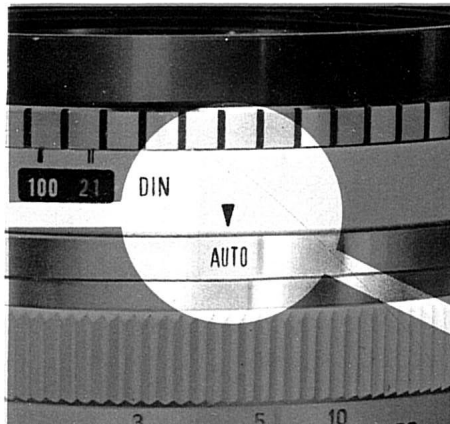
B

フラッシュオート撮影のとき

2. フラッシュマークにフィルム感度を合わせる



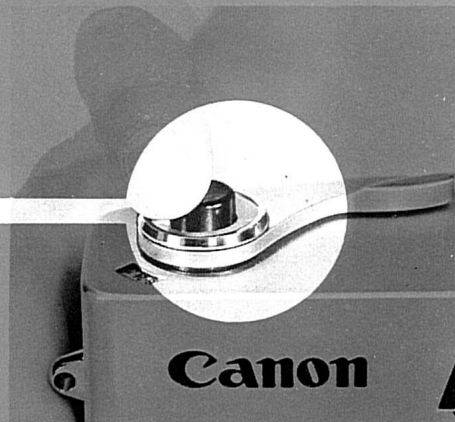
3. AUTO マークに合わせる



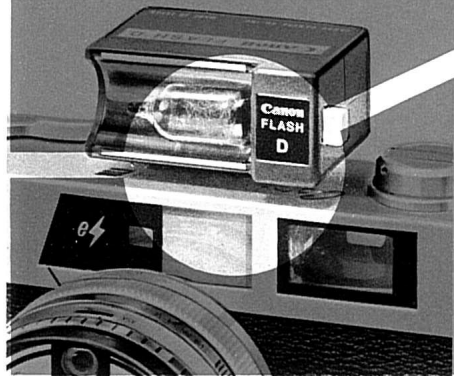
4. ファインダーをのぞいてピントを合わせる



5. シャッターボタンを静かに押す



3. フラッシュDを取付ける



キヤノネット QL 19 E の性能



型式 35mm 電子シャッター式 EE カメラ

レンズ キヤノンレンズ SE 45mm F1.9 4群5枚構成

電子シャッター F1.9 1/15秒～F16 1/500秒の電子回路によるプログラムEE式シャッター
トランジスタ6個，ダイオード3個，タンタルコンデンサー1個他内蔵。
AUTO・フラッシュ切換え式 フラッシュ用シャッター1/30秒，電源にMP型
水銀電池1個使用

フィルム感度目盛 ASA 25～400 DIN 15～27

露出調節 高性能CdS使用，電子シャッターによる正確な自動露出調節。
EE作動範囲 EV 5.8～17

ファインダー 二重像合致式距離計連動，パララックス自動矯正式マークファインダー
ファインダー視野内にフラッシュ撮影へ切換え指示の警告ランプ付

フラッシュ撮影 フラッシュ用シャッター1/30秒，直結式フラッシュDを使用，AG-1Bバルブ
に対して絞りの自動調節，フラッシュ撮影に関する一切の計算不要。不適正フ
ラッシュ防止つき。キヤノンスピードライト100に同調して絞りの自動調節，
JIS B型ソケットあり。

セルフタイマー 内蔵，電子シャッターと連動。

フィルム巻上げ 1作動120°回転巻上げレバー式。

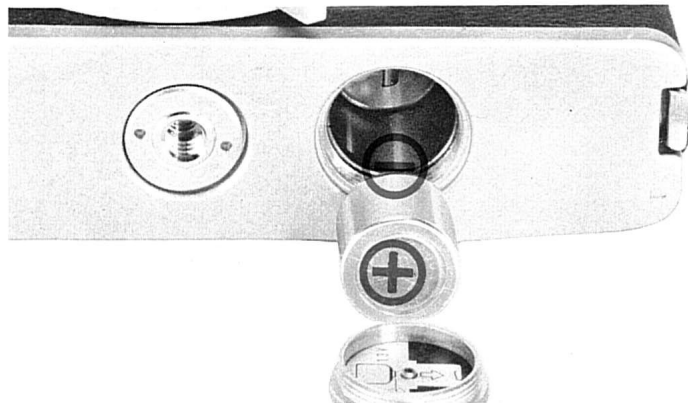
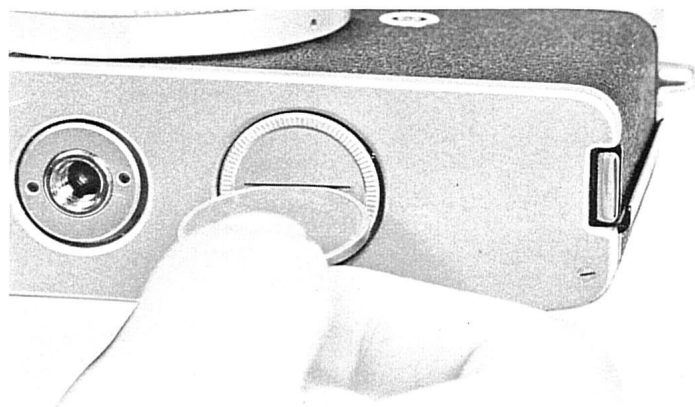
フィルム装填 キヤノンの開発によるQL機構を備えた自動装てん方式，標準パトローネ使用。

フィルム枚数計 自動復帰順算式

フィルム巻戻し 巻戻しボタンを押してクランクで巻戻す。

大きさ・重量 140mm×79mm×31mm（レンズ突出量35mm）／760g

撮影の前に



まず水銀電池をつめてください

別封の水銀電池は、電子シャッターを作動させるための電源です。これを入れ忘れると撮影できません。

1 水銀電池室カバーに硬貨をあてがい、左回しに回してはずし、

2 水銀電池の中心接点のあるほうを奥に向けて押しこみ、カバーをねじこみます。

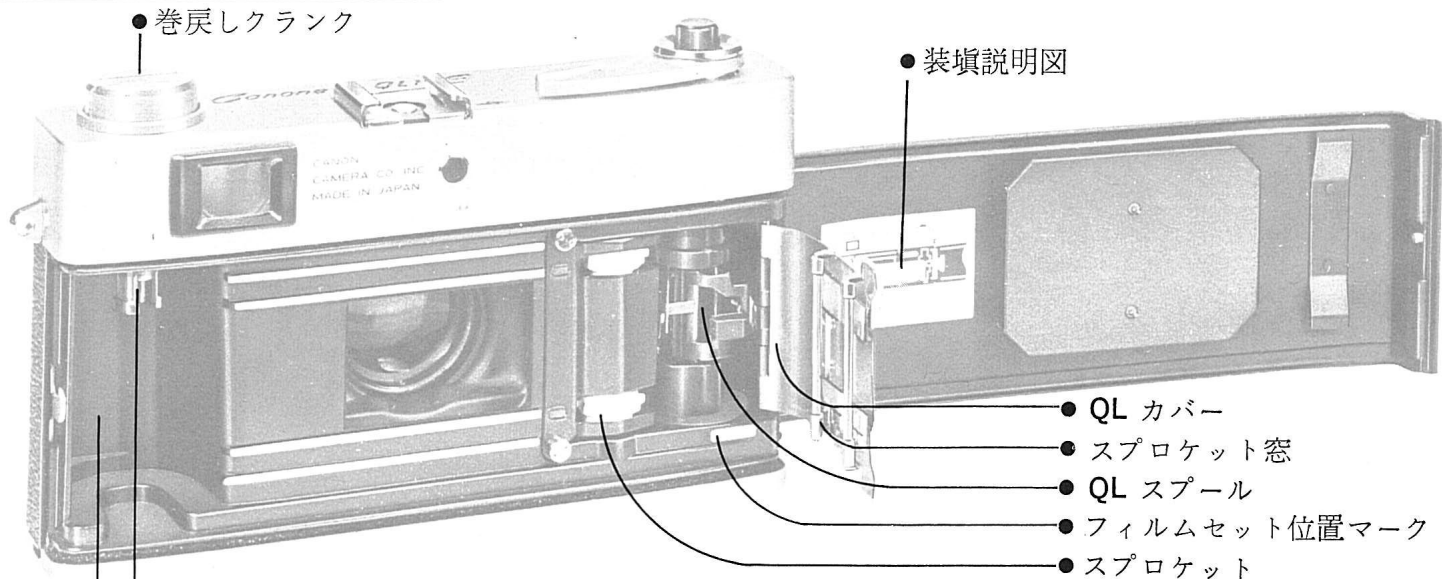
水銀電池はナショナル製 M-IP 型が最も適当です。米国の Mallory RM-IR に相当し、約2カ年の連続使用に耐えます。

- ・水銀電池を逆向きに入れぬよう注意すること
⊕⊖を逆にに入れてシャッターボタンを押すとシャッターが開き放しになります。カメラの裏蓋を開いてシャッターボタンを押し、シャッター羽根が開閉するかどうか確認してください。

- ・水銀電池は乾いた布でよく拭いてから入れてください。汗や指紋は腐蝕の原因になり、カメラの接点を損なうおそれがありますから十分ご注意ください。

- ・長期間使用しないときは、水銀電池をはずして乾燥した場所へ保存しておいてください。

フィルムのつめ方



● 巻戻しクランク

● 装填説明図

● QL カバー

● スプロケット窓

● QL スプール

● フィルムセット位置マーク

● スプロケット

● フォーク

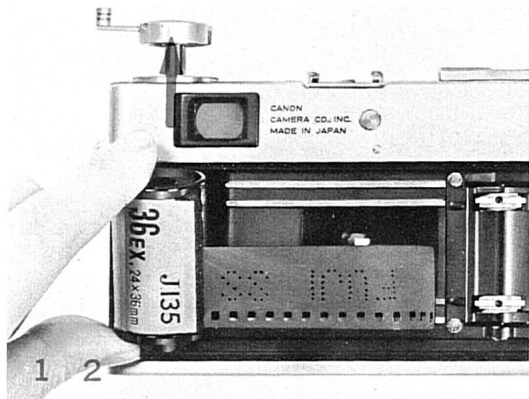
● パトローネ室

● 使用フィルム

QL 方式によるフィルム自動装填は、市販のパトローネ入り 35mm フィルムがすべて使えます。特殊な専用フィルムの必要がありません。

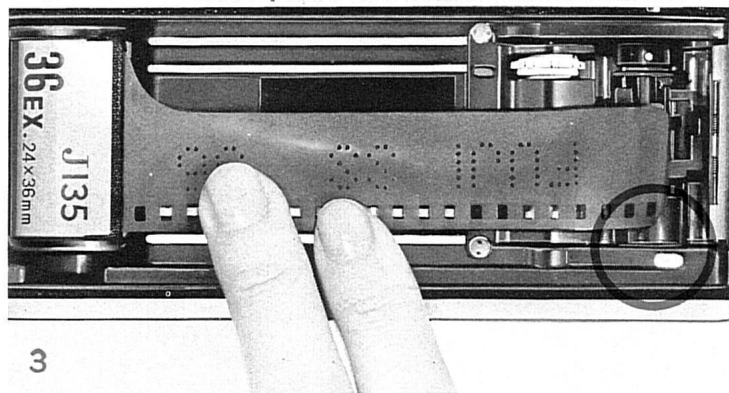
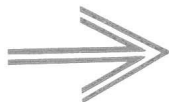
● 取扱い

装填の際は直射日光下は避け、やむを得ないときは太陽に背を向けてす早くお取扱ください



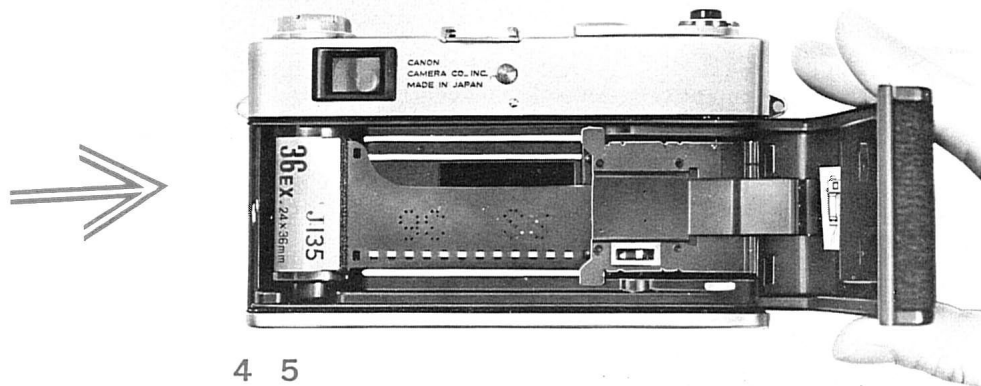
1 裏蓋を開きます
 裏蓋止め金を引くと裏蓋が浮上がります。裏蓋はいっぱいに開いてください。このときQLカバーも約90°開きます。QLカバーはフィルム装てんに大切なはたらきをするものです。裏蓋の開閉につれて自動的に開閉しますから、QLカバーには直接手をふれないでください。

2 パトローネを入れます
 巻戻しノブを十分に引上げ、パトローネを入れたら、ノブを元の位置に押し下げ、フォ



ークをパトローネ軸にさし込みます。ノブが十分戻りきらないときは、左右に僅か回すようにすると収まります。

3 フィilm先端を●マークに合わせます
 パトローネの向きを写真のように整え、フィルムを上向きに浮かせないよう左手で押えながら、



4 5

4 裏蓋を半ば閉じると、

QL カバーがフィルムを押えます。スプロケット窓でフィルムが歯車に正しくかかっているかどうかを確認します。

5 裏蓋を閉じます。

裏蓋は押すだけで完全に閉まります。フィルムにたるみがあるとパトローネが浮上がり裏蓋が閉まりません。ご注意ください。

6 2回空写し

シャッターを切りレバーを巻上げて、フィルム送り操作を2度くり返してください。フィルム枚数計の表示が0になり、次の巻上げで1枚目の撮影準備ができます。

フィルム送りが正しく行なわれていれば、レバーを巻上げたとき、巻戻しノブが回転します。フィルムにたるみがあるときは、巻戻しクランクを回してたるみをとっておくこと。



EE 撮影

1. 準備



キャノネット QL 19Eの電子シャッターは、被写体にカメラを向けたとき、明るさにピッタリの露出を自動的に選びます。暗すぎてフラッシュ撮影に切り換える必要があるときは、ファインダー視野内に警告ランプが灯ります。

1. 準備

EE 撮影をするときには、カメラにかならずつぎの二つの条件を与えておいてください。

1 ASAセッティングをまわして、使用フィルムの感度がフィルム感度表示窓に出るようにセットします。たとえば ASA100 のフィルムを使う場合は、ASA側に100 (白文字)

を出します。このとき DIN 側には対応感度 21 (緑文字) が同時に示されます。

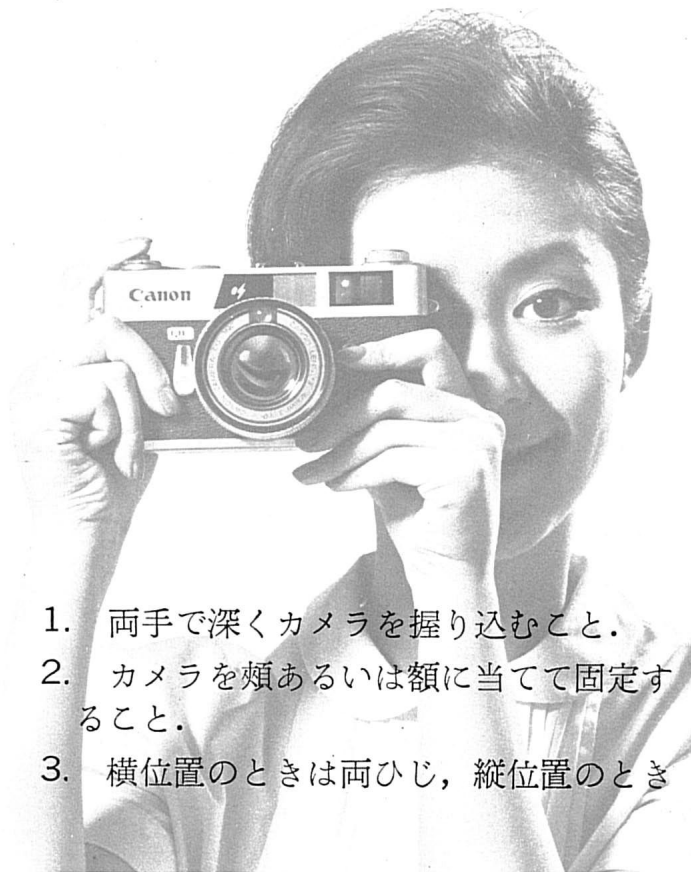
- 正しいセット位置にはかならずクリックストップがかかります。DINとASAを反対にセットしたり、数値が1つだけしか出ていない場合は、正しい露出が得られませんからご注意ください。

ASAおよびDINの数値はつぎのとおりです。

ASA	25	32	40	50	64	80	100	125	160	200	250	320	400
DIN	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27

2 オート・フラッシュ切換えリングを回してオート指標 (▼) にAUTOマークを合わせます。

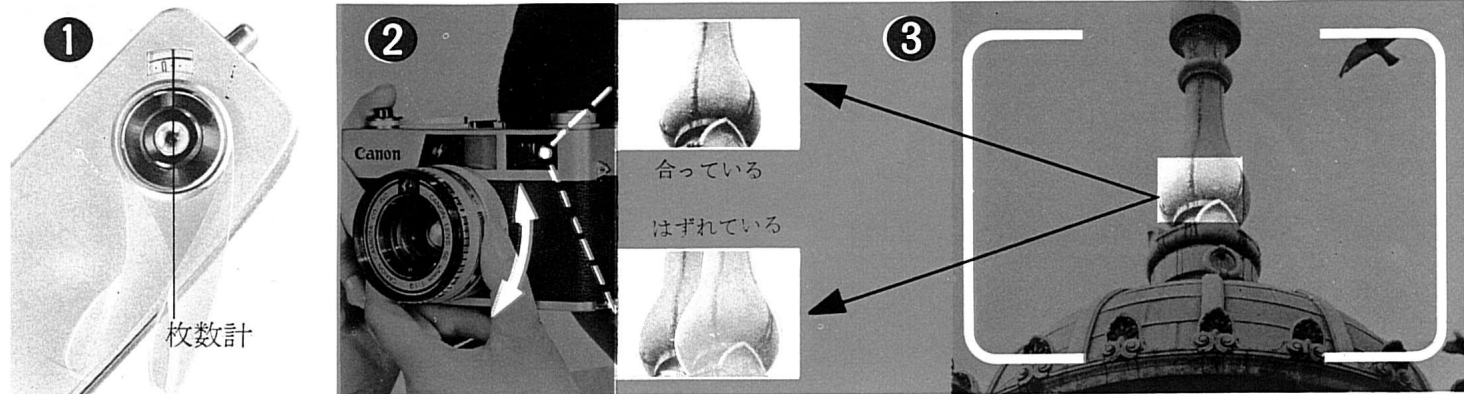
構え方



1. 両手で深くカメラを握り込むこと。
2. カメラを頬あるいは額に当てて固定すること。
3. 横位置のときは両ひじ、縦位置のとき



- は少くとも一方のひじをぴったり体につけること。
4. シャッターボタンはカメラブレを起さぬよう静かに押すこと。



1 レバーを巻上げます。
フィルムが1コマ分送られ、シャッターがチャージされます。同時にフィルム枚数計が1目盛進みます。

2 ファインダーをのぞいて、ピントを合わせます。

フォーカシングリングを回しながら、ファインダー視野の中央部の小さなりんかく内をのぞいてください。被写体の二つの像が完全に一致したとき、正しいピントが得られます。

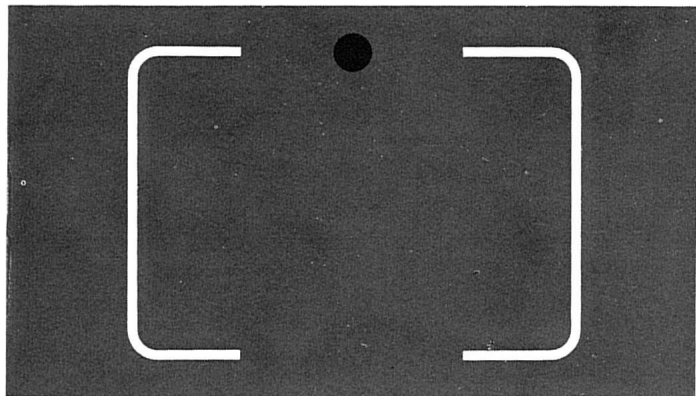
3 構図をきめます。ワクの中がうつります。視野の周辺に見える四角い枠のなかが写される画界です。この枠はピント合わせに連動して、自動的にパララックス（視差）の矯正をしますから、ねらったとおりの範囲が完全にフィルム面に収まります。



4 シャッターボタンを押します。

シャッターボタンはカメラぶれを起さぬよう静かに押すことがたいせつです。シャッターがはたらくと、ふたたびレバーの巻上げができます。

×シャッターボタンを押したまましていると電池の消耗が早くなりますからご注意ください。



●EE 撮影の警告ランプ

暗い場所でEE撮影ができない場合は、シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー視野内に赤ランプが灯ります。この警告ランプがついたときは撮影をやめてフラッシュ撮影に切替えるようおすすめします。

×得がたいシャッターチャンスなどで、露出不足を承知で撮影したいときは、そのままシャッターボタンを深く押せばシャッターが切れます。

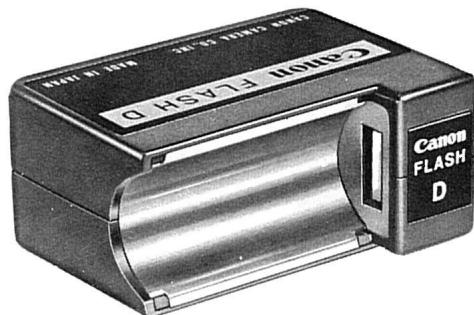
×シャッターボタンはゆっくり押してください。急激に押すと警告ランプがついてもそのままシャッターが切れてしまい、せっかくの警告ランプが役に立ちません。




フラッシュ撮影

キヤノネット QL19E は、AG-1B バルブを発光させたとき、自動的に適正絞りが得られるよう設計されています。ガイドナンバーによる計算などいっさい必要ありません。専用のフラッシュDにAG-1Bバルブをお使いください。





フラッシュD

1 オート・フラッシュ切換えリングを回して、リング上のフラッシュ用ASA目盛から使用フィルムの感度を選び、フラッシュ指標  に合わせます。

フラッシュ用ASA目盛は400, 200, 100, 50, 25の五種が刻まれています。各目盛の間は二カ所でクリックストップがかかりそれぞれつぎの数値に相当します。

ASA	32	40	64	80	125	160	250	300	
	25	· ·	50	· ·	100	· ·	200	· ·	400

切換えリングをフラッシュにセットするとシャッター速度は 1/30 秒、絞りはピント合わせに

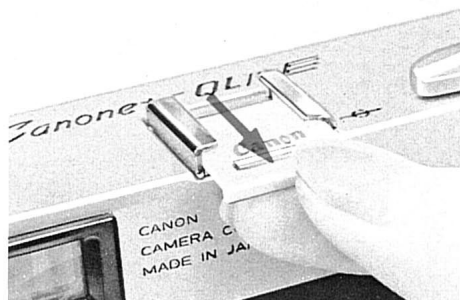


連動して、適正露出となるよう自動的にきまります。

2 フラッシュDをアクセサリースューに取りつけます。

① アクセサリースューのカバーをはずして、フラッシュDをさしこみます。アクセサリースューカバーは、アクセサリースュー中央部の接点を保護するものですから、フラッシュ取付け時以外は、取りはずさぬようにしてください。

② バルブをフラッシュDにさし込みます。フラッシュバルブは、AG-1Bをお使いください。

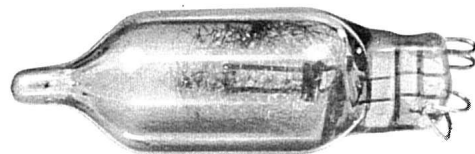


フラッシュ D に AG-1 バルブをつけたとき、あるいはフラッシュ D 以外の発光器を用いるときは、つぎのようにフラッシュ用 ASA 目盛をセットして撮影できます。

- キヤノンスピードライト 100 は AG-1B バルブを用いた時と全く同様に、使用フィルム感度をそのままフラッシュ目盛にセットして撮影します。
- AG-1 バルブも使用できますが、このときはフラッシュ用フィルム感度を 2 倍にセットします。たとえば ASA100 のフィルムを使用する場合は、200 の数値にフラッシュ指標

を合わせます。

- キヤノンスピードライト 100 のほか、フラッシュクイントなどの発光器を用いても同様な方法で同調させることができます。
- スピードライト、フラッシュクイントなどを使用するときのために、フラッシュソケットが設けられています。



3 ピントを合わせます

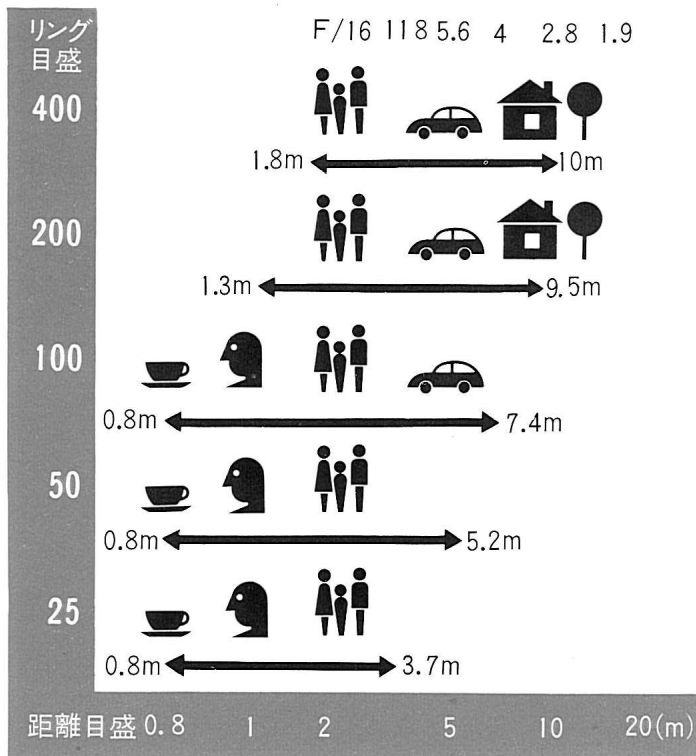
・不適正フラッシュの防止のための
距離リング回転制限

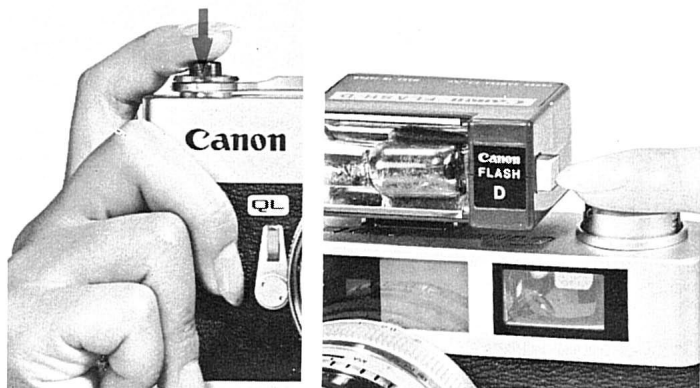
ピント合わせの前に、距離リングを左右に一度ずつ回してください。

フラッシュ撮影のときは被写体との距離によって、絞りが自動的にきまるようになっていますが、被写体が近すぎる場合、遠すぎる場合は適正露出が得られなくなります。このような不適正露出の範囲には、距離リングが回せないような仕組みになっています。フラッシュ撮影に切替えてから距離リングを左右に一度ずつ回すと、距離リングの連動範囲がきまります。

距離リングの連動範囲は、使用フィルム感度によって、つぎのように変わります。被写体との距離を図の範囲内にとれば、適正露出が得られます。

フラッシュオート撮影距離連動範囲





4 シャッターボタンを静かに押す

シャッターボタンを押すと同時に発光してフラッシュ撮影が行われます。発光後のバルブは、フラッシュ D のエジェクターを押すととび出します。

●発光しないときは……

バルブを交換してみましょう。断線しているときがあります。

電池は大丈夫ですか？ 古かったら取りかえてください。

電池は正しい位置にはいっていますか？ 図示どおりかどうかしらべてください。

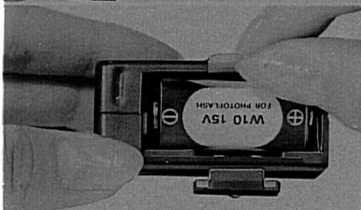
フラッシュ D の電源には15V積層乾電池の W10 を使用します。ナショナル W10、東芝 W10F などがあり、米国の Eveready 504 に相当します。



1 裏蓋を引いて電池室を開き

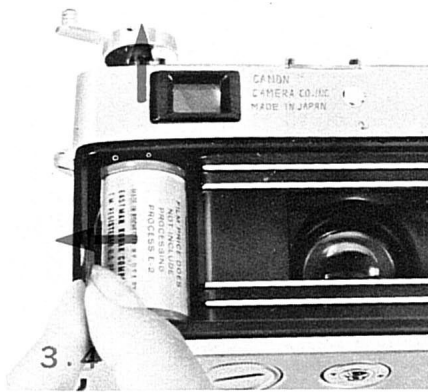
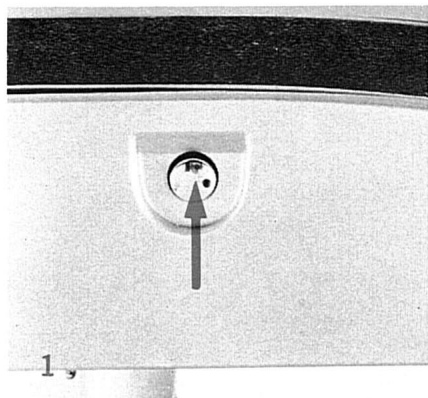


2 ⊕側，⊖側をまちがえぬよう電池をつめます。



長期にわたって使用しないときは電池をとり出しておきます。ビニールシートを引っばると簡単にとり出せます。

フィルムの巻戻し



フィルムが終りになると巻上げができなくなります。撮影されたフィルムはカメラの中に裸のまま巻取られていますから、巻戻さずに裏蓋を開くと全部無駄になります。ご注意ください。

1 巻戻しボタンを押し込む。

2 クランクで巻戻す。
巻戻しクランクを引起し、矢印方向に回しフィルムを元のパトローネに巻戻します。巻戻しボタンの回転が止ったら巻戻しを中止します。

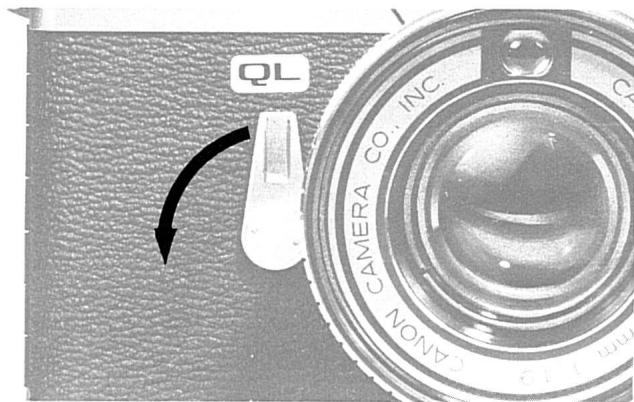
×フィルムを全部パトローネに巻込むと取出したとき洩光の心配があります。巻戻しが終ると、クランクの抵抗がやや軽くなるのでわかりますから、ここでクランクの回転を止めてください。

3 裏蓋を開き、

4 パトローネを取出します。
巻戻しノブを十分に引上げて取出してください。

- 巻戻しボタンは、レバーを巻上げると自動的にもとへ戻ります。
- フィルムの終りで無理に巻上げると、フィルムが切れて、巻戻しができません。この際は暗箱内で操作するか、カメラ店へ持っていかしてください。

セルフタイマー



セルフタイマーを使用するとシャッターボタンを押した後、約 10 秒おくれてシャッターが作動します。

1. 巻上げレバーを巻上げ、
2. セルフタイマーレバーを矢印の方向へレバーが止まるまで約 90° たおします。
3. シャッターボタンを十分に押し下げます。



- セルフタイマーは EE・フラッシュ撮影のどちらにも使用できます。
- 暗い条件下で EE 撮影をするときには、セルフタイマーレバーをチャージする前に、あらかじめ軽くシャッターボタンを押してみて、ファインダー内で警告ランプがつくかどうかたしかめてください。



裏蓋止め金

ファインダー接眼部

水銀電池室

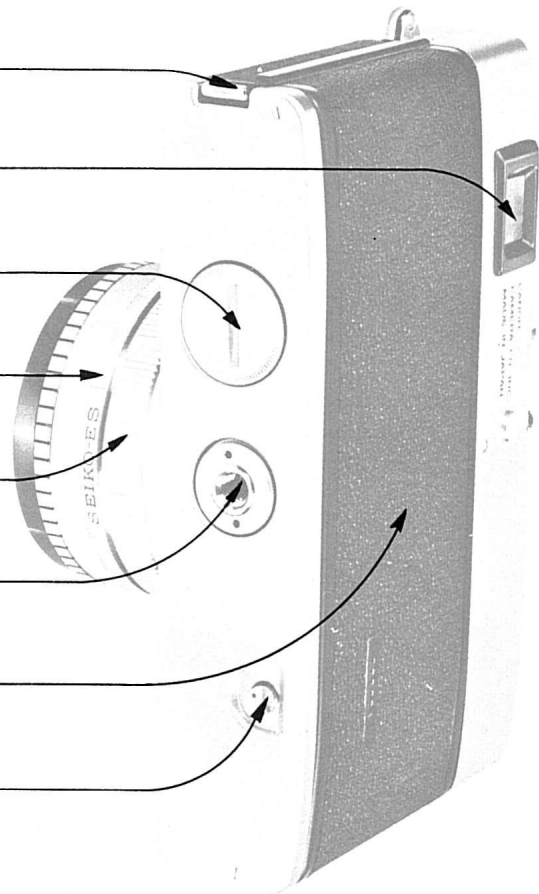
AUTO・フラッシュ切換えリング

距離リング

三脚穴

裏蓋

フィルム巻戻しボタン



フィルターの使い方



55mm ねじ込みフィルター各種が用意されており、黒白フィルム・カラーフィルムに対してそれぞれ特有の効果をあらわします。

キャノネット QL 19 E では、CdS受光窓もレンズとともに一枚のフィルターでおおわれるた

め、フィルター倍数補正の必要はありません。

55mm フィルター各種、プラスチックケース 付 各 1,000円

UV, Y₁ Y₃ O₁ R₁ G₁ スカイライト カラー
コンバージョン ND 全11種

フィルター 55mm ねじ込み式

露出 倍数	種 類	フ ィ ル タ ー 効 果
1	UV (SL39・3C)	黒白・カ ラー共通
1.5	Y1 (SY44・2C)	黒白用
2	Y3 (SY50・2C)	
3	O1 (S056・2C)	
6	R1 (SR60・2C)	
3	G1 (MG55・C)	黒白・カ ラー 共通
1	スカイライト	
4	ND4	
8	ND8	
2	カラー コンバージョン A	
3	カラー コンバージョン B	カラー用

- 紫外線だけを吸収し、各色光には無影響です。海浜、高山などの紫外線の多い所では特に有効です。カラー撮影の常用フィルターとしてもおすすめします。
- 黒白フィルムに利用して、写すもののコントラストを強めます。海の色を整えたり、青空をおさえて白雲を浮き出させます。赤や黄色は多少明るくなります。
- 青色はかなり暗く、黄や赤が見た目より大分明るくなります。コントラストを強調し遠景には特に有利です。
- コントラストを強調し、場合によっては白昼の調子も夜景に近くなります。赤外フィルムに併用するフィルムでもあります。
- 赤が極端に白くなるのを防ぎ、空や顔を適当な明るさの調子にし新緑などの明るさもそのままに表現します。
- 青空や木蔭の色を自然に近づける作用をします。
- ND 4 は1/4倍、ND 8 は 1/8 倍に光量を減じます。カラー色光再現には全く影響ありません。
- タングステンタイプを太陽光下で撮影する場合に色温度を転換するカラーフィルム専用のフィルターです。
- デイライトタイプフィルムを電灯光下で撮影するための色温度転換フィルターです。

キヤノンカメラ株式会社

東京都大田区下丸子町 312 電話 738 大代表 2111

営業所・サービスステーション

銀座	東京都中央区銀座 5-3	(吹原ビル 1 階)	電話 572-4271 ~ 3
八重洲	東京都中央区八重洲 3-1	(大久保ビル 2 階)	電話 271-0391 ~ 2
大阪	北区 梅田 2	(第一生命ビル 2 階)	電話 361-1 2 6 1
名古屋	中村区広小路西通 3	(大商ビル 6 階)	電話 581-3811 ~ 4
福岡	天神 1-11-17 号	(福岡ビル 9 階)	電話 76-2818・1061
広島	広島市幟町 14-11 号		電話 21-4615 ~ 6
札幌	北三条西 4-1	(第一生命ビル 4 階)	電話 23-5788・22-7322
仙台	東二番丁 6 8	(富士ビル 8 階)	電話 25-0215 ~ 7
新潟	新潟市東大通 1-23	(マルタケビル 7 階)	電話 44-0758 ~ 9
静岡	静岡市御幸町 9-2	(大吉野ビル 2 階)	電話 54-3 9 3 6

